

戦争準備をしてる場合ではない ✖

教育・福祉の拡充を！！

戦争法施行で軍事費が5兆円を突破する一方で、私たちの生活はますます苦しくなっています。とりわけ子どもたちや若者・学生を取り巻く状況は深刻です。今すぐ政策転換が必要です。

□「子どもの貧困」は6人に1人という調査結果が発表されています。多くの若者が大学を出て巨額の奨学金の返済に追われているなど、日本の子どもたちや学生・若者の生活環境が急激に悪化しています。今すぐにでも手を打たなければなりません。

□日本では「大学は希望して行くのだから、学費を自分で払うのが当然」「貧困は自己責任」などの考え方が根強く広められています。ところが「ほとんどの国では大学の授業料は無料、奨学金は返さなくていい給付金が主流」であり、日本の常識は世界の非常識なのです。

□大学進学だけでなく、中学校の制服や体操服代、義務教育でも給食費や修学旅行などの行事代、そして私立高校の入学金や学費、施設費など、余りにも多くの負担が子育て世帯にかかっています。

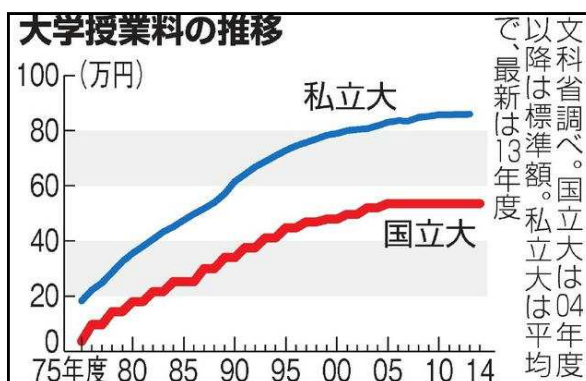
教育はサービスや商品ではなく憲法に規定された権利です。高等教育も含めた学費免除、奨学金の給付化（返済しなくていい）、教育費全般の軽減、無償化などが喫緊の課題です。

戦争準備をやめ、軍事費を削減して、教育・福祉を拡充することを求めます。

1 あまりに高すぎる 大学の授業料・初年度納付金

大学の学費は約40年前から50倍にもなっています。物価が約3倍になったのに比べても桁違いです。相当の準備や覚悟がなければ大学進学は困難です。

	入学金	年間授業料	初年度納付金
国立大	282,000	535,800	817,800円
私立(文系) (平均)	60万円	80万円	140万円



(グラフは朝日新聞より)

リブ・イン・ピース☆9+25

TEL 090-5094-9483 (事務局 大阪)

E-mail liveinpeace_heiwa@yahoo.co.jp

<http://www.liveinpeace925.com/>

http://blog.goo.ne.jp/liveinpeace_925

2 大学生の約53%が奨学金を受給 うち7割以上が有利子

大学の学費があまりにも高すぎるため、大学生の半分以上が奨学金を借りています。その7割以上が有利子です。奨学金とは名ばかりの「教育ローン」になっています。

奨学金を運営する学生支援機構は「学生支援」どころか、学生を食い物にする「貧困ビジネス」「ブラック貸金業」とさえ言われているのです。



3 大学卒業時に巨額の借金

奨学金を借りている学生が卒業時に抱える返済額は平均で300~400万円。なかには1000万円にのぼる学生もいます。

400万円

1000万円

結婚して子どもを生んで育てることが出来るのかしら？



社会人のスタート時点で1000万円もの借金を抱えているなんて!!

4 教育予算の抜本的拡充を

日本の教育への公的支出はOECD諸国でも最低です。子どもの貧困格差も最低レベルです。

教育予算を拡充し、子どもたちが安心して学び、生活することで出来るようにすべきです。



リブインピースの企画案内

沖縄県 辺野古 写真展

大浦湾の生きものたち

写真提供:ダイビングチーム すなっくスナフキン

2016年5月21日 (土)22日 (日)

5月21日 12:00~ 17:00 22日 10:00~ 16:00

阿倍野市民学習センター (地下鉄阿倍野駅すぐ、JR・地下鉄天王寺駅より徒歩7分)

